

第3回板橋保育園三者協議会資料に関するご意見・ご質問について

質問1 (スライド17) 4 職員研修とメンタルケア

入職時研修(誓約書)について

どのようなもので、どのようなことを目的としたものなのでしょうか。

【回答】

A1. 入職時研修について

法人には、人権擁護委員会があり虐待防止に努めています。「虐待防止マニュアル」「人権擁護マニュアル」を整備し、虐待の早期発見、虐待や不適切な保育の防止に努めています。入職時研修では同マニュアルを用いて座学、ディスカッション、ケーススタディ等を取り入れ研修を行います。

A2. 入職時の誓約書について

虐待防止に関連し、ご入職いただく職員の方から、以下の書類をご提出いただいています。書類の提出により、規則遵守の意識を高めます。

1. 身元保証書

就労者が、就業規則及び諸規則(人権擁護マニュアル等を含む。以下同じ)を厳守すること及び賠償責任について、ご親族の方より身元の保証をいただいています。

2. 誓約書

履歴書等の提出書類の真偽、就業規則及び諸規則の遵守、故意・過失による損害賠償について就労者に誓約していただきます。

Q3. 職員のメンタルケアについて

法人には、すまいる委員会という、法人全体の横断的な組織があります。すまいる委員会では、各園の職員同士が意見や情報を交換し、悩みを話し合うだけでなく、専門アドバイザーからアドバイスをいただいています。令和5年度より、臨床心理士の方にアドバイザーをお願いし、職員のためのメンタルケアを行ってまいります。

また、管理職による定期的な面談、意見が出しやすい委員会活動、Googleフォームによるアンケート、職員の就労環境の向上、コミュニケーションを深めるための休憩スペースの充実等、園舎環境の充実等に努めて参ります。

質問2 (スライド17) 5 虐待発生を抑止する環境

園内モニターの設置について

各教室ごとに設置するのか。音声も入るのか。定期的に録画したものを誰が見るのか。ただ設置しただけで、誰も見ないのであれば、意味はないと思う。

【回答】

(1) 各教室に設置をするのですか

⇒ モニターカメラは各保育室だけでなく、園庭、テラス、階段等、園舎内外の大半をカバーするように設置します。

(2) 音声は入りますか

⇒ 音声を入れるカメラ、画像のみのカメラがあります。園舎の建設に合わせ、どの場所に、どのようなカメラを設置していくのか検討して参ります。

(3) 定期的に誰が録画をしたものを見るのか、設置しただけで誰も見ないのであれば意味はないのではないかと思います。

⇒ 既に系列園においてモニターカメラを設置し運用しています。カメラの画像は事務室のモニターでリアルタイムに映し出され確認できます。画像は2週間程度保存されます。すべてを見直すのではなく、不審者・出入りの監視、コロナウイルス濃厚接触者の確認、けがや事故等、確認すべき事項が起きた場合にモニターの映像を見直します。

また、カメラ設置により事務室のモニターには常に映像が映し出され、後日確認も可能という点については、職員全員が了承しており、不適切な保育についても、平素より職員自身の注意を喚起する効果があります。

質問3 (スライド17) 5虐待発生を抑止する環境

チーム保育(複数の保育士が互いに保育を確認)について

最近、保育士さんの虐待がメディアで多く取り上げられているが、どこの保育園でもチーム保育であった。チーム保育が虐待を抑止するとは、個人的に思えない。

その点、どのようにお考えでしょうか。お聞かせください。

【回答】

今回、報じられているニュースによると、複数の保育士による虐待、もしくは虐待を容認する消極的な虐待が見られ、複数の保育士がいることは必ずしも虐待の抑止につながっていないのではないかとのご意見だと思います。その点につきましては深く同意致します。複数の保育士がいることだけで、虐待のすべてを防げるわけではありません。下記に、法人の虐待防止に対する考え方を記載します。

○ 虐待が発生する保育者側の要因

保育者側の保育・養育の姿勢、子どもの発達への理解等が不十分である場合、虐待に繋がる可能性があります。未就学期の子どもたちは、体験や経験を通じて学びます。法人では、保育所保育指針の考え方に基づき、大人が言葉や考えを教えるというよりは、子どもが生活や遊びを通じて学ぶことを大切にしています。

法人の考え方

乳児白紙論

子どもたちは白紙の状態でもまれてきており、大人が指導しなければ白紙のままという考え方。

「しつけ」という言葉のもと、子どもは大人が指導すべきという考え方が強くなる。

保育所保育指針の考え方

子どもは、胎児の頃より多くのことを身に付け、学び、発達した状態で生まれ、子ども自身に成長する力があるという考え方。

大人は子ども自身の成長を見守る、発達を促す環境を整えるという考え方に繋がる。

○ 法人のチーム保育について

虐待を保育者個人の問題としてとらえず、職員全員が、一人ひとりのお子様の個性や特性についての理解等を共有していることが、虐待を防ぐには非常に重要であると考えています。

当法人のチーム保育は、クラス間の垣根を越え保育者同士が助けあう保育です。自分のクラスのお子様だけでなく、泣いている子・困っている子がいれば手を差し伸べる、保育者同士が互いの得意を持ち寄り、保育を進めています。

○ オープンな園舎による保育の可視化

今回報じられた事件のように、虐待が発生しやすい環境は密室です。保育室が密室になり、互いに黙認するような関係になれば、複数の人間がいても虐待が起きるリスクは高まります。民営化園の園舎は、密室化しにくいオープンな園舎です。また、お伝えしたようにモニターカメラを設置するほか、法人の人権擁護委員会に対して、職員が直接意見を提出できる匿名性の高いグーグルフォームなどの通報システム、全職員に人権擁護に関するアンケート・自己評価ガイドラインによる省察等を実施していきます。